

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 11 日

事業名称		園芸振興対策事業費〔園芸振興対策事業〕									
予算科目	款 6	農林業費	項 1	農業費	目 4	園芸振興費	事業番号	1			
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	産業振興 課 農政 係					課長名	佐伯 芳幸				
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	3 - 3			
【施策名】 都市農業の振興							総合計画書 (ページ)	73			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	市民農園利用者・農業生産集団				①市民農園の利用者数 → ②生産集団の団体数						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
	農作業を通じて農産物や農業に親しみ、農業に対する理解が深まる 農業経営の効率化及び技術向上				①市民農園の利用者数 → ②生産集団の団体数						
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	農家から農地を借り受け、市民に貸し付け、適切な利用を促す 農業生産集団への補助				①利用率(利用者数/区画数) → ②補助金交付額						
		単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
			平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標				
対象指標	①の数値	①人 ②団体	①221 ②5	①103 ②5	①103 ②5						
成果指標	②の数値	①人 ②団体	①221 ②5	①103 ②5	①103 ②5						
目 標	②の目標値	①人 ②団体	①221 ②5	①103 ②5	①103 ②5	①103 ②5	①103 ②5	①103 ②5		①103 ②5	
	目標値設定の考え方 ①については、市民農園の区画数、②については、現状の生産団体数とした。										
活動指標	③の数値	①% ②円	①100 ②1,015,298	①100 ②1,218,666	①100 ②1,052,100						
3 経費	事業費(実績)		円	7,474,939	2,538,680	2,891,725	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	6,200,539	1,423,580	1,782,925					
		特定財源(国・都・他)	円	(他) 1,274,400	(他) 1,115,100	(他) 1,108,800					
		(うち受益者負担)	円	1,274,400	1,115,100	1,108,800					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.55	0.55	0.55					
		所要人数(再任用)	人								
		職員人件費(再任用以外)	円	4,570,500	4,609,000	4,537,500					
事業費+人件費		円	12,045,439	7,147,680	7,429,225						
4 環境変化等	(1) 開始年度		昭和44年度								
	(2) 環境の変化 生産緑地地区に指定されている農地を市に貸し付けたまま相続が発生すると、必要な証明書類の発行に問題が生じる。新たな法律(都市農地の貸借の円滑化に関する法律)が施行されたことにより、上記課題が解決され農地の貸借がしやすくなった。										

事業名称	園芸振興対策事業費〔園芸振興対策事業〕				
担当部署・課長名	産業振興	課	農政	係	課長名 佐伯 芳幸

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について				
	市民のニーズは高い。				
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）				
	☒ 取り組んだ	取組手法：⑤補助・助成			
	☐ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）			
	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点				
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） 未使用の農業資材や、区画以外の部分の除草への対応。 市民農園の周囲が住宅に囲まれているため、雑草や土ぼこりへの対応。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。 定期的な農園の巡回と、除草の実施。 業務分析の結果、市民農園については、令和7年度にて廃止することとなった。				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 未使用の農業資材や、区画以外の部分の除草への対応。 市民農園の周囲が住宅に囲まれているため、雑草や土ぼこりへの対応。 市民農園の廃止について、滞りなく進める必要がある。				
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 都市農業の振興 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 現状維持				
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
	特になし				